



学校紹介 ～その17～

☞第3学年修学旅行（韓国）



1月9日（水）から2泊3日で修学旅行に行つて参りました。好天に恵まれ、予定されていた行程をすべて実施することができました。

韓国の釜山は日本の京都と同緯度にあります。気温はかなり低く、さらに北に位置する慶州はマイナス7度と川が凍りつくほどの寒さでした。



韓国料理は「辛い」というイメージが強いのですが、われわれ日本人の口にもよく合、個人的には3日間ともすべての料理をおいしくいただくことができました。

「辛い」料理を食べて思ったこと。それは、辛さは温かさだということです。食べてしばらくするとおなかの中がホカホカ。食という文化は風土と密接につながっているのですね。



2日目に訪れた仏国寺は鮮やかな色使いの仁王（？）像や伽藍が印象的なお寺です。写真ではわかりづらいのですが、幸せを呼ぶ「金の豚」が屋根のすぐ下に設置されています。



大陸特有の「寒さ」。近くて遠い「文化」。そしてその象徴である「韓国の人々」。生徒たちはこの修学旅行を通して、日本では経験することのない「異文化」を体験することができました。

☞防災訓練について



1月17日（木）、阪神淡路大震災から18年目のこの日に阪神昆陽高等学校と合同で防災訓練を行いました。今回は本校校長の異動に伴う離着任式を行うため、本校のみ体育館に避難するという形を取りました。避難指示から集合・点呼完了まで10分弱で終了し、比較的スムーズな訓練となりました。



☞校長離着任式



本校の生駒勝信校長が、平成25年1月16日付で兵庫県立尼崎小田高等学校へ異動となりました。

新校長として兵庫県立伊丹西高等学校から西田勝弘校長が着任いたしました。



生駒校長へ花束贈呈



西田校長挨拶



自分を社会に生かし、自立を目指せ

生駒 勝信

じこりかい しんか じこじゆよう
自己理解の深化と自己受容

せんたくきじゆん きんろうかん しよくぎようかん かくりつ
選択基準としての勤労観・職業観の確立

しょうらいせつけい りつあん しゃかいてきこう じゆんび
将来設計の立案と社会的移行の準備

しんろ じつけんざんみ しこうてきさんか
進路の現実吟味と試行的参加

これらが、あなたたちが高等学校で身につけるべきことです。

高校1年生では、新しい環境に適応するとともにクラスのみんなと人間関係をつくってください。さまざまな学習を通して自分の能力や適性をつかんでみなさい。さまざまな情報を収集することも大切です。

2年生では、クラスのみんなだけではなく、他の人の考え方や個性を肯定できるようになりましょう。また、学校で座って学習するだけではなく、広く社会に出て体験学習することも自らに課(か)してみましょう。自分の職業的な能力や適性を理解できるようになったら、将来設計を考えてみることで。

3・4年生では、卒業後の進路について具体的な目標と、今何をすべきなのかを定めて実行してください。理想と現実が合致しない場合が多くあります。そのようなときでも困難を乗り越えられるような技術も身につけておきましょう。

人生に運とツキはあると思いますか。運やツキは、棚ぼた式には落ちてきません。人生の心得を、「永久の計は一念(いちねん)の微(び)にあり」といわれるときがあります。人生はかすかな一念の積み重ねによって決まるという意味です。

気持ちを健やかに、身体も怠ることなく日々の生活をしてください。

人生の真理というものはシンプルなものですから。



2月の行事予定

2月 4日(月)～ 8日(金)

……学年末考査



9日(土)……パソコン入力スピード認定試験

15日(金)……ボウリング実習

19日(火)……答案返却

・体験活動発表会

27日(水)……卒業を祝う会

28日(木)……卒業式予行



3月の行事予定

3月 1日(金)……卒業式

4日(月)……2・3年生登校日

個人写真撮影

5日(火)～7日(木)

……追認考査

11日(月)……カウンセリング

22日(金)……終業式



編集後記

「新春」や「迎春」など、年賀状で「春」ということばが多く用いられるのは、旧暦で立春を1月1日と定めていたためです。本当の冷え込みはこれから。「冬来たりなば春遠からじ」。梅のたよりが待ち遠しい今日この頃です。

家人に「いにしえ人の苦難を思えば、このぐらいの寒さは我慢我慢」と言い聞かせて、こたつのスイッチをoff。懐まで冷え込んではさすがに癒えますから。

